

=====

◇植物ストレス科学研究ネットワークメールマガジン vol. 185 ◇

2025年12月12日号(第185号)

-----◆◆ INDEX ◆◆-----

1. J-PEAKS で導入された共通機器について
 2. 令和8年度資源植物科学研究所共同研究課題募集のお知らせ
 3. 資源植物科学シンポジウム・植物ストレス科学研究シンポジウムのご案内
 4. 資源植物科学研究所・助教(特任)の公募について
 5. 大学院進学説明会(オンライン開催)のお知らせ
 6. 最近の研究成果について
 7. 投稿のお願い
 8. 編集後記
- ◆◆◆◆-----

1. J-PEAKS で導入された共通機器について
-シングルセルディスペンサー(セルソーター) Pala-
Pala Cell Sorter and Single Cell Dispenser, Bio-Techne 社
https://www.bio-techne.com/p/cell-sorting-and-single-cell-dispensing/pala-cell-sorter-and-single-cell-dispenser_ni006
https://www.rib.okayama-u.ac.jp/collaboration/pala_cell_sorter/

Palaは、溶液に懸濁された粒子・細胞を細管に通し、レーザー光により細胞一つずつの散乱光、蛍光を検出し、選択した細胞を一つずつ96または384ウェルプレート(シングルセルモード)あるいは大

量に試験管に集める（バルクモード）ための機器です。

たとえば様々な細胞集団から、特定の蛍光を持つ細胞やサイズの異なる細胞だけを集める、または互いに異なる雑多な細胞を一つずつ分けることができます。蛍光が強い細胞のみを集めたり、培養しにくい細菌を環境中から他の細胞の影響無しに単一に分離するなどといったアプリケーションが考えられます。

レーザーは 405, 488 nm の二つを装備しており、フィルターは 447 nm から 783 nm まで装備しています。シングルセルモードは 10,000–20,000 cells/ml、バルクモードは 100,000–500,000 cells/ml の細胞濃度に対応しています。

フローサイトメトリーよりも穏やかな条件で分離するため、細胞へのダメージは少ないと考えられます。またカートリッジ式で、クリンベンチ内設置のため、サンプルごとのコンタミはありません。

粒子サイズは最大 30 μm、最小 0.5 μm 程度です。

機器利用、共同研究については随時受け付けておりますので、興味のある方は相談下さい。

<https://www.rib.okayama-u.ac.jp/collaboration/collaboration-index/>

2. 令和 8 年度資源植物科学研究所共同研究課題募集のお知らせ
岡山大学資源植物科学研究所では、共同利用・共同研究拠点「植物遺伝資源・ストレス科学研究拠点」の事業としまして、令和 8 年度の共同研究課題を公募いたします。

<https://www.rib.okayama-u.ac.jp/collaboration/collaboration1/>

* 重点研究・若手奨励研究の募集は終了しました。ご応募ありがとうございました。

○公募テーマ

植物の遺伝資源または植物のストレス科学等に関する共同研究を募集します。具体例は以下の通りです。

- ・植物遺伝資源の評価と利用に関する研究
- ・ストレス耐性植物などの創出と利用に関する研究
- ・植物のストレス耐性またはストレス応答に関する研究
- ・植物と他の生物間との相互作用に関する研究

○公募区分

一般研究

(上限額 消耗品費 15万円・旅費 15万円/年・件) [40-50件程度]

○研究期間

研究期間は、令和8年4月1日から 令和9年3月31日まで

詳細は資源植物科学研究所ホームページをご覧下さい。

<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/collaboration/collaboration1/>

○申請書等提出期限 (E-mail)

令和8年1月9日（金）

○提出先・問い合わせ先

岡山大学資源植物科学研究所 共同研究担当

kyodo1247@adm.okayama-u.ac.jp

3. 資源植物科学シンポジウム・植物ストレス科学研究シンポジウムのご案内

当研究所では、「第41回資源植物科学シンポジウム・第17回植物ストレス科学研究シンポジウム」を下記の要領で開催します。本シンポジウムは、岡山大学資源植物科学研究所が2年に1度開催する国内シンポジウムです。皆様のご参加を心よりお待ちしております！

■第41回資源植物科学シンポジウム・第17回植物ストレス科学研究シンポジウム

■日時：2026年3月2日（月）－3月3日（火）

■会場：倉敷芸文館 アイシアター

■参加費：無料

■講演者：鈴木 信弘 [岡山大学 資源植物科学研究所]

門田 康弘 [理化学研究所]

平野 朋子 [京都府立大学]

鳥山 欽哉 [東北大学]

長岐 清孝 [岡山大学 資源植物科学研究所]

小田 祥久 [名古屋大学]

桶川 友季 [岡山大学 資源植物科学研究所]

小杉真貴子 [基礎生物学研究所]

南 杏鶴 [理化学研究所]
奥山 雄大 [国立科学博物館]
■主催 : 岡山大学 資源植物科学研究所
(共同利用・共同研究拠点)
■共催 : 岡山大学 高等先鋭研究院 先鋭研究群
(植物・光エネルギー開発拠点)
■後援 : (公財) 大原獎農会
■参加登録、研究交流会会費支払い期限 :
2026年2月16日(月)

詳細および申し込みは下記のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.rib.okayama-u.ac.jp/sympo/2026/>

4. 資源植物科学研究所・助教(特任)の公募について
現在、当研究所（植物レジリエンス研究グループ）では助教（特任）
1名の公募を行っております。

詳細は以下のウェブサイトをご確認ください。

https://www.rib.okayama-u.ac.jp/recruit/20251120-post_j/

5. 大学院進学説明会（オンライン開催）のお知らせ
植物研では大学院進学を検討されている皆様を対象に、オンライン
大学院説明会を開催します。受験を考えている方も迷っている方も
気軽にご参加ください。

参加を希望される方には事前申し込みをお願いしております。
申し込み締め切りは、2月27日(金)です。

【日時】

2026年3月6日(金) 13:00—17:00頃
2026年3月9日(月) 13:00—17:00頃

詳細および申し込みは以下のウェブサイトをご確認ください。
<https://www.rib.okayama-u.ac.jp/information/20251112daigakuin/>

6. 最近の研究成果について

Che, J., Huang, S., Qu, Y., Yoshioka, Y., Tomita, C., Miyaji, T., Liu, Z., Shen, R., Yamaji, N., Ma, J.F.
A node-localized efflux transporter for loading iron to developing tissues in rice.
Nature communications, 16(1):9916 (2025)
Doi.org/10.1038/s41467-025-64863-4

Spanner, R., Sallam, A.H., Guo, Y., Jayakodi, M., Himmelbach, A., Fiebig, A. et al.
Whole-Genome Resequencing of the Wild Barley Diversity Collection: A Resource for Identifying and Exploiting Genetic Variation for Cultivated Barley Improvement.
G3 (Bethesda, Md.), jkaf261 (2025)
Doi.org/10.1093/g3journal/jkaf261

Grossi, C.E.M., Ulloa, R.M., Sahin, N., Tani, A.
Methylobacterium as a key symbiont in plant-microbe interactions: Its ecological and agricultural significance.
Plant biotechnology (Tokyo, Japan), 42(3):229–241 (2025)
Doi.org/10.5511/plantbiotechnology.25.0309a

7. 投稿のお願い

本メールマガジンや Web サイトでは、植物ストレス科学の研究成果や研究に関する情報の共有を目指しています。

(<https://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/>)

PSSNet メンバーの皆様の最新の論文、関連集会やセミナーの案内、人材募集などの共有可能な情報の投稿をお待ちしております。
ご希望の方は、pssnet-admin@okayama-u.ac.jp 宛に情報をお送りください。
また、メーリングリストへの情報提供も随時受け付けております。
セミナーや講演会の開催など、お急ぎの情報は pssnetml@okayama-u.ac.jp 宛てにお送り下さい。
*お送り頂く際には、PSSNet に登録しているメールアドレスからお願い致します。

8. 編集後記

先月、島根県松江市で開催された国際会議に参加してきました。今年はNHKの朝ドラの舞台ということもあり、街は以前訪れた時よりも観光客でにぎわっていました。前回の会議はアメリカ・アリゾナで、その時以来、久しぶりに再会できた方もいて、懐かしい時間を過ごしました。東京から寝台列車「サンライズ出雲」で来られた方もいて、日本ならではの旅を満喫されていたのが印象的でした。

国際会議の最終日にはエクスカーションがあり、足立美術館を訪れることができました。足立美術館は、横山大観をはじめとする近代日本画や北大路魯山人の陶芸など、約2000点を所蔵する美術館で、今年で開館55周年を迎えます。特に有名なのは、5万坪に及ぶ日本庭園で、米国の日本庭園専門誌によるランキングで22年連続日本一に選ばれています。館内にある「生の掛け軸」というスポットでは、床の間の壁に設けられた窓から庭園を眺めると、一幅の掛け軸のように見える仕掛けがあり、庭園を絵画として楽しむ美意識に感銘を受けました。あいにくの雨でしたが、紅葉が始まり、しっとりとした景色がとても美しかったです。

さらに、帰り際には思いがけない自然現象に出会いました。美術館からバスに戻る途中、二重の虹（ダブルレインボー）が現れたのです。内側の濃い虹を主虹、外側の薄い虹を副虹と呼び、太陽光が雨滴内で二度反射することで生じるそうです。副虹は主虹よりも色が淡く、色の順序が逆になるのが特徴で、写真を見返すと確かにその通りでした。また、ダブルレインボーは幸運のサインとも言われ、願い事をするとよいそうですが、その時は知らずに何もお願ひできませんでした。次の国際会議にも参加できますようにと、今になって願っています。

今年も残すところわずかとなりました。本年もメールマガジンをご愛読いただき、ありがとうございました。来年も植物の魅力や研究の話題をお届けできれば幸いです。寒さが厳しくなりますが、どうぞお体に気をつけて、よいお年をお迎えください。

「植物ストレス科学研究ネットワークメールマガジン」

■発行日 2025年12月12日

■発行元 岡山大学資源植物科学研究所

植物ストレス科学研究ネットワーク (PSSNet) 委員会

■WEB サイト <https://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/>

メールマガジン登録変更・解除の手続きは

<https://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/Registermember.htm>

でお願いします。

(このメールは岡山大学職員が配信しています)

pssnetml mailing list

pssnetml@okayama-u.ac.jp